

令和8年度 第1回 地域メディア連携協議会開催結果

住民の理解と自らの行動につなげるための情報発信について
メディア機関と共有・連携

近年の温暖化による災害の激甚化、頻発化が顕著となっている中で、国としても災害から国民のいのちとくらしをまもるための防災・減災、国土強靱化を進めています。このようなハード対策とあわせて、地域のリスク情報などを関係機関やメディアとの情報共有を通じて住民等への情報伝達を行い、速やかな行動に結びつけていただくため、情報提供と意見交換を行いました。



第1回 地域メディア連携協議会の概要

- 日時 令和8年6月8日(月)10:00～11:30
- 場所 金沢河川国道事務所 2階会議室 (Web会議併用)
- 参加団体 【メディア機関】
NHK金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、
テレビ金沢、北陸朝日放送、エフエム石川、
北國新聞社、読売新聞
- 【行政機関】
金沢地方气象台、石川県、
金沢河川国道事務所(事務局)
- 議事次第・情報提供
 - (1)金沢地方气象台
 - ・最新の3か月予報と新しい防災気象情報について
 - (2)金沢河川国道事務所
 - ・新しい防災気象情報に関連した河川関係情報の変更点について
 - ・防災、減災に向けた取組について
 - ・昨冬の降雪対応について
 - ・大雨による道路の通行止めについて
 - (3)その他
- 意見交換

各機関からの主な意見等

1. 気象情報関係
 - ・今夏は平年より気温が高くなる見込みだが、具体的な上昇幅の予測は難しい。今後発表される1か月予報・2週間気温予想などを参照いただきたい。
2. 河川情報関係
 - ・洪水予報河川において氾濫発生情報が予測段階でも発表できるようになった。なお、発表方法は従来どおりで変更はない。
3. 道路情報関係
 - ・多種多様な道路情報がある中、注目される効果的な発信を実施する方法については引き続き模索中であり、報道機関との意見交換を継続していきたい。
 - ・道路CCTVのスクロール配信については、昨年のメディア協議会の意見を踏まえ、10秒間隔から60秒間隔に変更されたことで、視聴者に場所などの説明ができるようになり、伝わりやすさが向上した。

